

- ① キリンビール跡地に企業進出が決定したことから、この付近の住環境を整備して定住促進を図るため、下野花岡駅周辺の宅地化調査費計上を望む。

【回答】

町の都市計画については、「高根沢町都市計画マスタープラン」の基本方針に基づき実施されており、このマスタープランは、創意工夫の下に住民の意見を反映しつつ、都市計画に関するまちづくりの具体性のある将来ビジョンを明示する計画となっております。

その中で、良好な住環境のまちづくりを目的に、市街化調整区域のまちづくりの手法の一つとして地区計画を用いた整備手法を想定しておりますが、市街化調整区域のまちづくりは町が主導するものではなく、まず、その地域で時間をかけて十分に議論し、地域の実情を把握することが重要となります。

その上で、目的を明確にし、法的要件に沿った計画の策定が必要であり、専門的なディベロッパーなどが具体的な計画を策定し、町に相談があった際に初めて実現性を検討することができるものであるとともに、民有地の調査費用は、その所有者が負担すべきものであることから、現状では町主導での宅地化調査は考えておりません。

- ② 仁井田市街地の人口が減少傾向にあることから、市街地活性を図るため、仁井田駅周辺の宅地化調査費計上を望む。

【回答】

市街化区域は開発を促進する地域であり、宅地利用は可能であります。また、現状では仁井田市街地内の宅地だけでなく、その他の既成市街地の宅地も余っている状態であり、市街化区域の拡大は難しいことから、仁井田駅周辺の宅地化調査は必要ないと考えております。

- ③ 町民広場周辺のさらなる地域活性化を図るため、町民広場周辺の宅地化調査費計上を望む。

【回答】

町民広場周辺についても、①の下野花岡駅周辺と同様に市街化調整区域となっているため、現状町主導での宅地化調査は考えておりません。

- ④ 多発する自然災害に対応するため、また、農業用水を確保するためにも、野元川一級河川の早期実現を望む。

【回答】

令和2年10月14日に栃木県知事に対して、野元川一級河川指定に係る要望活動を実施いたしました。その際の県の見解としては、野元川は農業用排水路という位置付けであることから、町で普通河川または準用河川に指定し、町が管理していく過程で災害による被害が出た場合や町単独での維持管理が難しくなった場合に、一級河川指定を検討するというものでした。そのため、令和4年4月1日付けで、まずは野元川を町管理の準用河川として指定いたしました。

なお、農業用排水路としての機能面は変わらないことから、日常の維持管理については、鬼怒川東部土地改良区と管理協定を締結しておりますが、現状のところ災害による被害はなく、維持管理上も問題無いことから、すぐに一級河川の指定を受けることは難しい状況であると考えております。

しかしながら、一級河川の要望理由として災害対策等の他に、将来的に宝積寺駅北東エリアの雨水対策として、野元川に排水する計画に伴い大規模な河川整備が必要になることを挙げていることから、今後、災害や維持管理の面で大きな変化があった場合、または、市街地の雨水対策が事業化され、それに伴う河川改修が必要になった場合には、再度野元川の一級河川指定に係る要望を行いたいと考えております。

- ⑤ 上高根沢地区内の県道は、朝夕の交通量が増加していることで、農作業のために道路を横断する際は非常に危険であることから、信号機を早期に設置してもらえよう県警に上申することを望む。

【回答】

信号機の設置要望については、例年、栃木県警察本部から「道路改良等に伴う信号機、大型標識の要望（必要）箇所及び供用開始予定路線の調査」の照会があり、その中で設置要望を行っております。

なお、上高根沢地区内の県道宇都宮向田線と町道67号線との交差点、県道石末真岡線と町道567号線との交差点の2箇所については、すでに信号機の設置要望を行っております。